御　礼

この度は、○○○○研究会による「○○○会と語る会」へのご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。

お蔭さまで盛会の裡に会を終えることができましたこと、私ども一同衷心より感謝申し上げる次第でございます。

ご来駕を賜りました皆様には、何かと行き届かない点があったかと存じますが、何卒ご容赦賜りますようお願い申し上げます。

○○党は、昨年夏の参議院議員選挙において勝利させていただき、長年のねじれを解消することができました。これも、野党時代を含め長年お支えいただきました皆様方のお蔭であると確信しております。いよいよ自由民主党の真価が問われる時でありますが、今こそ我が○○○○研究会が党内外に対して健全な姿を示し、国民と国家に必要な多様性を求め、日本再生への原動力とならねばと自覚しております。

我が国を取り巻く環境はめまぐるしいものがあります。憲法、教育、国と地方のあり方を含めた統治機構、そして外交と、いずれも国家戦略に絡む課題として山積しております。

その中でも、喫緊の課題であります東日本大震災の復旧、復興対策、原発事故収束への対応に全力をあげて取り組み、一方、原発再稼働の問題はエネルギー問題の将来として、「国のかたち」すなわち国家戦略を明示しなければなりません。

さらに、日本経済と外交を建て直し、国民生活の安定、そして何よりも政治への信頼の回復の実現のために全力を傾注して参ります。

今後とも何卒ご指導、ご鞭健を賜りますよう宜しくお願い申し上げますとともに、皆様のますますのご発展をお祈り申し上げまして、略式ながら御礼のご挨拶とさせていただきます。

平成２６年４月○○日

参議院議員　○○○○